

Press Release

報道関係者各位

2026 年 9 月 25 日

一般社団法人 Japan Pharmaceutical & BioScience Society

Polyoxazolines (POx) による次世代ドラッグデリバリーを学ぶ無料ウェビナー開催

- ナノメディシンの世界的リーダーが、POx の最新応用と送達技術の進展を解説 -

一般社団法人 Japan Pharmaceutical & BioScience Society (Japan PBSS) は、2026 年 10 月 24 日 (土) 8:00~9:00 (JST) に、「Polyoxazolines for Delivery of Small Molecules and Nucleic Acids」と題した無料オンラインウェビナーを開催いたします。

国際的に著名なナノメディシン研究者である Prof. Alexander “Sasha” Kabanov をお迎えし、Polyoxazolines (POx) が創薬・ドラッグデリバリー領域にもたらす新たな可能性について解説します。POx は、物性を精密にチューニングできる柔軟なポリマーとして注目されており、小分子から核酸まで幅広い治療モダリティの送達に応用が進んでいます。本セッションでは、POx ベースのデリバリー技術の最新動向と、製剤化・送達の課題にどう向き合えるのかを、研究・実装の両面から整理します。

【開催概要】

タイトル : Polyoxazolines for Delivery of Small Molecules and Nucleic Acids

日時 : 2026 年 10 月 24 日 (土) 8:00~9:00 (JST)

形式 : オンライン (Zoom)

参加費 : 無料

申込ページ : <https://www.pbss.org/eventDetails/1099>

【登壇者】

Prof. Alexander Kabanov (University of North Carolina, Chapel Hill)

ブロックコポリマーミセル、ナノゲル、マクロファージキャリア、エクソソーム送達など、数多くの革新的プラットフォームを開発し、臨床応用にもつながる研究を牽引してきた世界的リーダーです。

【本ウェビナーのポイント】

1. POx が注目される理由とその特性
2. 小分子・核酸送達への応用と最新技術
3. ナノメディシン・製剤化における POx の利点
4. 臨床応用に向けた課題とトランスレーショナルな視点
5. ドラッグデリバリー研究者が押さえるべき今後の展望

Japan PBSS について

Japan PBSS は、製薬・バイオサイエンス分野の専門家コミュニティとして、研究開発、薬事、データサイエンス、ビジネス開発など多様な領域の知識交流を推進しています。ウェビナーや勉強会を通じ、国内外の最新知見を共有し、産業発展に寄与することを目的としています。

公式 HP: <https://www.pbss.org/chapter/Japan>

公式 note : https://note.com/japan_pbss

公式 SNS : [LinkedIn](#)

本件に関するお問い合わせ

一般社団法人 Japan Pharmaceutical & BioScience Society

PR&Advocacy : info.japan@pbss.org

担当 : 黒坂、池田、杉田